

吉川区

地域協議会だより

(号外) 令和4年6月発行
発行 吉川区地域協議会
編集 たより編集委員会
事務局 吉川区総合事務所
総務・地域振興グループ
TEL 025-548-2311

よしかわ杜氏の郷の民営化に関して 意見書を提出しました。

吉川区地域協議会は、市が示した「株式会社 よしかわ杜氏の郷」の経営状況の悪化による民営化の方針と譲渡先公募の意向について、当該会社及び施設が、引き続き設立の歴史や地域とのつながりを大事にし、地域活性化を担う存在となるよう、「株式会社 よしかわ杜氏の郷の民営化に関する意見書」にまとめ、市長に提出しました。

吉川区地域協議会が提出した意見書の内容と、それに対する市長の回答は以下のとおりです。

吉川区地域協議会が提出した意見書の文面

令和4年5月2日

上越市長 中川 幹太 様

吉川区地域協議会
会長 山岸 晃一

株式会社 よしかわ杜氏の郷民営化に関する意見書

上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項に基づき、「株式会社 よしかわ杜氏の郷民営化」について、自主的に審議した結果、下記のとおり提出します。

記

日頃より地域文化の伝承、農村振興、地域のにぎわい創出等、多大なるご配慮を賜り、厚く御礼を申し上げます。

旧吉川町は、頸城杜氏を数多く輩出し、県立吉川高校には醸造科を設置し、多くの農家で酒米品種を作付け、杜氏や酒造りに関わる人が加盟する酒造研究会も設立されるなど、酒造に深く関わり、酒造の文化と歴史の伝承・地域農業の発展・農業所得の向上を目的に第三セクター株式会社よしかわ杜氏の郷を設立しました。その存在は、地域にとって大変重要であり、今後も酒造りの匠の地として在り続けていく必要があります。

最大株主である上越市におかれましては、今般の経営状況の悪化により、民営化を選択し、譲渡先を公募すると伺っています。譲渡先の選定に当たりましては、吉川区自慢の酒米や尾神岳の伏流水を使用し、吉川杜氏の匠の技にこだわり、地域のつながりや設立の歴史を守っていただくなど社会的貢献が見込める企業を吉川区住民は熱く希望しています。利益最優先の企業に譲渡されることはあってはならないものと考えております。

また、株式会社 よしかわ杜氏の郷を中心とする道の駅よしかわ杜氏の郷は、吉川区のインフォメーション基地であり、その活性化は地域の元気の源であり、吉川区全体の活性化もここから始まるととらえております。

上越市におかれましては、株式会社 よしかわ杜氏の郷を設立した吉川区住民の想いを尊重し、ご配慮をいただきますよう心から望みます。

市による回答書の文面

上産政第 18603 号
令和 4 年 5 月 12 日

吉川区地域協議会会長 山岸 晃一 様

上越市長 中川 幹 太
(産業政策課)

株式会社 よしかわ杜氏の郷民営化に関する意見書について (回答)

令和 4 年 5 月 2 日付けで提出のあった標記の意見について、下記のとおり回答します。

記

貴地域協議会におかれましては、第三セクター「株式会社よしかわ杜氏の郷 (以下、同社という。)」に関して自主的な御審議を頂き、敬意を表すところであります。

ご指摘の同社の民営化におきましては、現在、同社の経営悪化の対策の一つとして市が検討を進めているところであり、頂きましたご意見は今後民営化を行うこととする場合には尊重させていただきます。

市といたしましては、同社の経営に関し、引き続き、同社設立当初の目的や吉川区の住民の想いを尊重した取組を進めてまいりたいと考えております。

<令和 4 年度 第 3 回吉川区地域協議会で、上越市産業振興課が回答について説明>

5 月 19 日、吉川区地域協議会において、市の産業政策課が回答について説明しました。

地域協議会委員からは、「吉川の酒造り文化や歴史の伝承と地域の発展を目的とする理念の継承」「吉川区住民の想いをしっかりと受け止めてほしい」などの意見が改めて出され、市は、回答書の記載どおり、設立当初の目的や吉川区の住民の想いを尊重した取組を進めていくという考えを示しました。



↑ 回答について説明する市産業政策課



↑ 市の説明に対して意見を述べる
山岸会長

吉川区地域協議会では、市が行う「株式会社 よしかわ杜氏の郷」の民営化に関する取り組みについて、引き続き注視して行きます。